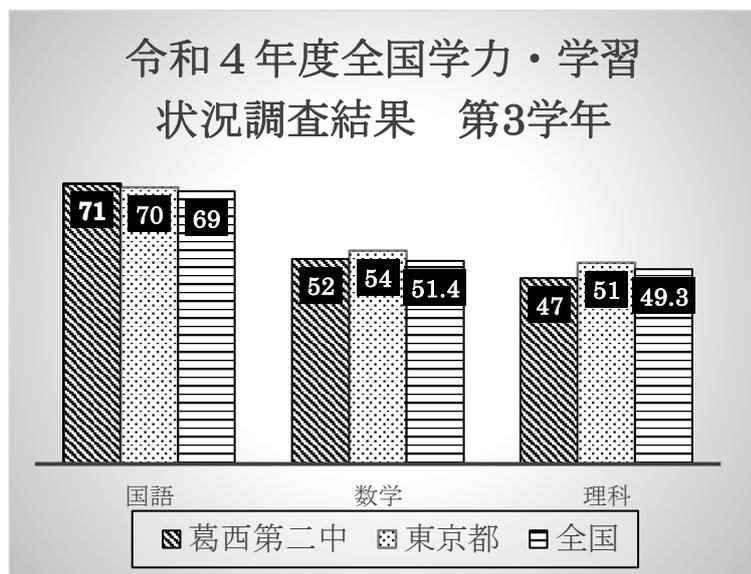


令和4年度 全国学力・学習状況調査 結果から

令和4年度の全国学力・学習状況調査が4月19日に全国の中学3年生を対象に実施され、先日結果が発表になりました。実施された教科は国語・数学・理科の3教科です。その結果（正答率）を、左の棒グラフにしてみました。



国語は、東京都・全国の結果より高い結果が出ています。問題別の結果を見ると、観点「知識及び技能」の「情報の扱い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」と観点「思考力、判断力、表現力等」の「書くこと」「読むこと」に優れていることわかりました。しかし、観点「思考力、判断力、表現力等」の「話すこと・聞くこと」が本校の課題で

あることもわかりました。今後、授業の中で取り組んでいきます。

数学は、全国よりは高い結果が出ています。問題別の結果を見ると、「関数・データの活用」領域の観点「知識・技能」が優れていることがわかりました。しかし、「関数・図形」領域の観点「思考、判断、表現」が本校の課題であることもわかりました。今後、授業の中で取り組んでいきます。また、1学年で学習した「素因数分解（自然数を素数の積で表す）」の正答率が低かったため、今後復習します。

理科は、東京都・全国の結果を多少下回っています。問題別の結果を見ると、「エネルギー」を柱とする領域の観点「知識・技能」が優れていることがわかりました。しかし、「生命」を柱とする領域の観点「思考・判断・表現」が本校の課題であることもわかりました。今後、授業の中で取り組んでいきます。

この調査では、3教科以外に「生徒質問紙」という調査もありました。その中で、「国語の勉強は大切だと思う」「数学の勉強が好きだ」「数学の授業の内容はよくわかる」「理科の勉強は大切だと思う」「理科の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つ」と答える生徒が非常に多く、東京都・全国を大きく上回っていることがわかりました。